



明日12月22日は冬至です。1年で最も昼が短く、千葉でも昼はわずか9時間46分しかありません。冬至のことを一陽来復ともいいますが、これはこれから少しずつ昼が長くなっていくこと、転じて、悪いことが長く続いたあとで、ようやくよい方へ向かうことを意味しています。

3年生はのんびりと年末年始を過ごすどころか、不安や焦りで苦しく辛い時期だと思いますが、今の時期はそう感じるのが当たり前です。でもそれが皆さんを成長させます。最後まで全力を尽くす事ができたなら、たとえ結果はどうであれ、その経験はその後の人生に大きな価値を持ちます。訪れない春はありません。仲間と励まし合いながら、この冬を乗り越えてください。

1・2年生は3年生の後ろ姿を見て、1年後、2年後の自分を想像してみてください。今、自分が何をすべきかが分かるはずです。16日間の冬休み、一日一日を大切に過ごしてください。

この2学期、生徒諸君の進路実現の助けとなるように、進路指導部では様々な外部の方をお招きして、講演・講座などを行ってきました。2学期の最後にその一部を簡単に振り返りたいと思います。

## ①【進路講演会 『国境のない生き方』 漫画家 ヤマザキマリ氏】

10月29日(月)午後、映画化されて大ヒットした「テルマエ・ロマエ」の作者である漫画家・随筆家の『ヤマザキマリ』氏をお招きして進路講演会が開催され、『国境のない生き方』と題してご講演いただきました。



絵描きになりたいと言った小学生の自分に、画家を志した少年の悲劇を描く「フランダースの犬」の本をくれたお母様の話・・・待っていても助け船は来ない。たった一人の過酷なヨーロッパ旅行に出された14歳・・・俯瞰で自分を見ることで冷静な判断ができた。そこで出会った陶芸家のマルコじいさんの勧めでイタリアの美術学校へ留学した17歳・・・ダメだったら諦めればよかったから。詩人との最強の貧乏生活・・・人は簡単にはのたれ死なない。などなど、我々の想像を超えたダイナミックなヤマザキ先生の青春時代の話が展開します。やがて話は漫画家になったいきさつ、映画：テルマエ・ロマエで古代ローマ人を演じた阿部寛さんのエピソード、そしてイスラム圏の文化を研究するご主人と過ごした世界最古の町：シリアのダマスカス、平和だった時のアレppo、そして昭和の日本のようなポルトガル・・・国境のない生き方を体現されたヤマザキ先生のお話は続き、さらに『テルマエ ロマエ』執筆のきっかけ、知的好奇心で火山噴火を見に行き命を落とした博物学者を描いた『プリニウス』や、古代ギリシャ青年が、1964年の東京オリンピックにタイムスリップする最新作『オリンピア・キュクロス』の紹介へと、あっという間の90分が過ぎていきました。

ご自身の経験を踏まえて私たちに伝えてくださったこと、それは『失敗しないようにやっつけよう』と思うのではなく、失敗経験はむしろ人生の武器になる。』そして『自分が突き進む方向がこれしか

ない、と思うとそこで終わってしまうけれど、人生は潰しがきくもの。無駄だと思ったらやめて次のことをやる。だから今これからの人生の方向性は、はっきり決めなくてもいい。とりあえず自分が今できそうな事、やってみたいと思うことを選んで、チャレンジしてもらいたい。』という励ましの言葉であったと思います。

多方面でご活躍中のヤマザキ先生ですが、高校で講演されるのは初めてだということでした。この得がたい機会に生徒の皆さんも『自らのあり方を考え、主体的に進路を選択し、自分の将来を考える上でのヒント』を掴んでもらえたと思います。

## ② 【出前講座『せんせいっていいもんだ』11/27(火)】

教職を志望している生徒を対象に11月27日の放課後15時40分から約1時間、出前講座『せんせいっていいもんだ』が開講され、1年生10名、2年生14名、3年生2名の計26名が参加しました。教職を真剣に考えている生徒達だけあって、皆さん真面目に耳を傾けていました。 【主な内容】



- 先生への道のり 千葉県教育委員会 石川 哲也 先生
  - ・教員になるためには、どこで、何を学べば良いのか。
  - ・教員免許取得や採用試験の概要
  - ・千葉県が求める教員像、教員採用状況、教員採用施策（大学推薦制度、説明会、出前講座など）
- 千葉市立緑町中学校 谷澤 辰仁 先生【千葉西高校卒業生(21期生)】
  - ・教師の魅力、職務や実践、実際の教育現場の話、高校時代に心がけておくこと、など

## ③ 【外部講師による進路指導② 12/12(水)】

外部講師による進路指導 ②は、12/12(水)13時30分から約1時間、7月に引き続いて駿台予備学校の増田悟先生を講師にお招きして開催され、26名の2年生、7名の1年生が参加しました。冬休みの勉強の注意点や、単語学習のポイントなど、センター試験の問題を解きながらの講義が行われ、参加者の97%が受講して良かった、これから受験勉強を始めるにあたって役に立った、と評価しています。



- (1) 冬休みの勉強の注意点(方向性)。
  - ・高2生は最後のセンター受験生、高1生は新入試の受験生となるが、入試で問われる力にそれほど大きな変化があるわけではない。ただしリスニングの比率は上がるだろう。
  - ・『文法(理屈を理解)』と『単語・熟語(暗記)』のバランスで勉強する。
  - ・まず、学校の授業をしっかり聞く。教科書に出てくる内容を第一に勉強する。
- (2) 記憶のメカニズム
  - ・孤立した知識は覚えづらい ⇒ 同義語、反意語なども一緒に覚える。単語集だけで勉強しない
- (3) 単語学習に際しては、単語の構成を考える
  - ・“否定”の意味を表す in-(im-, il-, ir-), “内へ”を表す in-/im-, “外へ”を表す ex-
- (4) 類義語などはグループで覚える
  - ・letterの形容詞形 literal(文字通りの), literary(文学の), literate(読み書きができる)
- (5) 熟語は前置詞や副詞のイメージをつかむ on/offのイメージ ⇒ onは[接触]、offは[分離]
- (6) それでも文中で知らない単語に出会ったら? ⇒ 文脈・論理展開から意味を類推する